



深田久弥

山の文化館だより

令和6年
春号

深田久弥 山の文化館
〒920-0677
石川県加賀市大聖寺森場町十八
TEL 〇七六二七二一三三
FAX 〇七六二七二一八二

カシミール3Dを

一緒に楽しみませんか

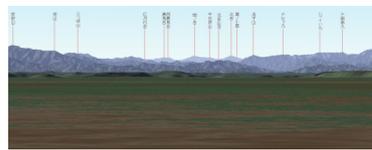
カシミール3Dは1994年に杉本智彦さんによって発表された山岳展望のためのソフトである。ということ、もうすでに三十年の歳月が流れていることになる。利用しつくした方にとっては今更の感があるが、ご存じない方もある。私自身も二十年近く使っているが、高度な利用には程遠い状態である。自分の山登りの際はもちろん、山の文化館の展示にも結構利用してきた。

桶川、西出両氏の「白山の見える頂」と題する新聞連載を紹介する展示をした。その時には、写真もお借りしたが、それぞれの頂から見る白山を作図して展示した。同時に、逆の発想で「白山から見える山々のパノラマ」を作って展示した。このパノラマは今も利用している。山で写してきた写真の山座同定に、久弥さんの著作『車窓から見える山』に登場する眺めの再現に、ま

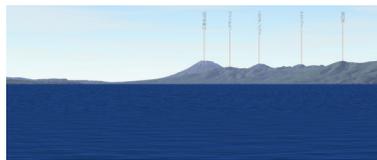


た、北前船から見た陸地の山の眺めはいかに等いろいろ利用して来た。『霧ヶ峰での一夏』での山岳展望の再現にも使い、大いに納得した。

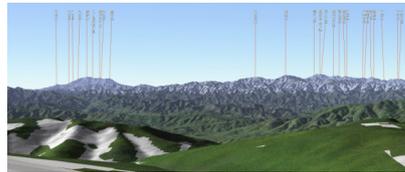
もっと高度な利用法があるので挑戦してみたい。一緒に研究して、カシミール3Dを楽しみませんか。「カシミール3Dクラブ」を作り活動したいと思います。詳しくは夏ごろまでに山の文化館ホームページでお知らせします。ご参加をお待ちしております。



六郷橋梁から白峰三山



北前船からの眺め



霧ヶ峰からの乗鞍岳～御嶽山

この一冊

『辻まこと山とスキーの広告画文集』というちょっと長い表題の一冊がある。これは山とスキーの店、「八重洲秀山荘」が創業三十年を記念して、昭和五十六年五月に発行した非売品の本である。

辻まこと山とスキーの広告画文集

秀山荘

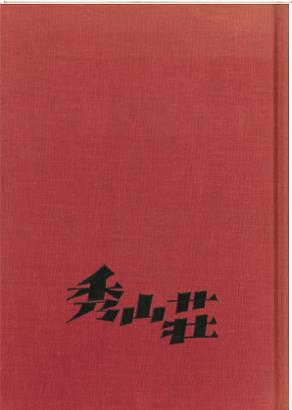
学生時代に山岳雑誌でよく目にした秀山荘の漫画付き広告が満載されていて飛びついたのでの画文も風刺とユーモアの利いたものばかりで楽しい。辻まことならではの世界観がそこにはある。いろんな方々が寄稿しているが、読めば、戦後の海外遠征や南極越冬隊に関わった人たちの話も出てくる。また、新婚旅行に冬の上高地に行った女優の八草薫さんの文章も載っている。付録には開店二年目ぐらいの価格表も付いている。その中に載っている登山靴はまだナールゲル靴である。

平成二十二年に、まえがきと一部の文章が入れ替えられて再版された。本の体裁は同じである。オリジナルのものを渡すことが出来なかった人々に渡したいと言う店主の想いで、相当多く作られたようである。同時に、山と溪谷社からも同じものにカバーを付けて、初版第一刷として出版された。



辻まこと
山とスキーの広告画文集

山と溪谷社



秀山荘